

平成21年度 第2回 朝日地区地域審議会 議事録

1. 開催日時 平成21年10月16日(金) 午後1:30～午後3:00
2. 開催場所 朝日支所 2階 第1会議室
3. 出席委員 小田昌隆、横井昌平、島田好、小田嘉壽、小田太一、斎藤文作、
佐藤利子、小池良行、五十嵐孝佐、横井栄子
4. 欠席委員 松田侯夫、遠山政好
5. 出席職員 佐藤支所長
(事務局) 地域振興課；岩沢係長、小田主任
環境衛生課；土田副参事
市民生活課；斉藤係長
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

平成21年度 第2回 朝日地区地域審議会 会議次第

日 時 平成21年10月16日(金)
午後1:30～
場 所 朝日支所 2階 第1会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 勉強会

○ 朝日地区臭気規制について

(2) 協議事項

○ 朝日地区の活性化策・意見具申に向けた協議について

4 その他

5 閉 会

会 議 経 過

1. 開会（午後1時30分）

事務局；委員の皆様、本日はお忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。遠山政好委員が都合により欠席との連絡が入っております。松田侯夫委員がまだ来ていませんが、定刻になりましたので、ただいまから、「第2回朝日地区地域審議会」を開催させていただきます。議事におきましては、次第にもありますとおり、前半は勉強会という形をとりまして、前回意見交換の中で話がありました「朝日地区の臭気規制について」本庁環境衛生課の土田副参事からお話を伺います。その後、引き続いて、協議事項に入ります。それでは、会長から開会のあいさつをお願いいたします。

2. 会長あいさつ

会 長；皆様方には、公私共にご多忙にも関わらず、第2回朝日地区地域審議会にご出席いただき、ありがとうございます。第1回目では「朝日地区の活性化策について」自由に意見交換をしていただきました。今回は検討事項を決定し、皆様の意見を聞きながら、意見書としてまとめていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

3. 議事

（1）勉強会

○ 朝日地区の臭気規制について

会 長；それでは、私のほうで議事の進行を務めさせていただきます。議事の一項目目「勉強会」ではありますが、事務局から説明をお願いします。

事務局；7月15日に行われた「第1回朝日地区地域審議会」の意見交換の際、話題になりました「朝日地区の臭気規制について」協議事項と切り離して、勉強会という形をとらせていただきました。本庁環境衛生課土田副参事から説明がありますのでよろしく申し上げます。

環境衛生課副参事より説明

（質疑・応答）

会 長；ありがとうございました。ただいま、環境衛生課の方から、「朝日地区

の臭気規制について」説明がありましたが、委員の皆様からご質問などありましたら、お願いします。

委員；今の説明では平成22年の4月から規制地域に指定されるということでしたが、規制の範囲はどこでどなたがどのようにして決めるのか。

環境衛生課副参事；私ども、環境衛生課、朝日支所の担当、それと村上市には環境審議会がありますので、当初私どものほうでは諮問をして答申をしていただきたいと考えて、8月に現地をまわりました。しかしその時はタイミングが悪かったようで、あまり臭いが感じられなかった。そのため、このような状況では、環境審議会としても判断出来ないということでした。諮問という形は取らないとしても、環境審議会を開催して、市側の考えをお示しして意見をいただこうと考えています。現在持っているイメージとしては、山の部分を除いた地域については、全て規制をかけるべきかと考えております。

委員；どこかの地域を規制範囲にしないということがないよう、なるべく広範囲に亘って指定していただきたい。

委員；村上市公害防止条例及び同施行規則は新市になって新しく制定したもののか。それとも今までであったものか。

環境衛生課副参事；合併5市町村が持っていた条例、規則を見比べながら調整して制定されたものです。

委員；新市になってから、条例に基づいて指導や勧告をした例はあるか。

環境衛生課副参事；合併後は、今のところ、畜産に限らずしたことはありません。

会長；ほかにないようですので、「朝日地区の臭気規制について」は終了いたします。環境衛生課の方は、仕事の都合により退席いたします。大変ありがとうございました。

(2) 協議事項

○ 朝日地区の活性化策・意見具申に向けた協議について

会長；引き続きまして、議事の2項目目「朝日地区の活性化策・意見具申に

向けた協議について」事務局から説明をお願いします。

事務局；第1回審議会では旧村時代の総合計画もあったというお話がありましたので、今回は第4次総合計画（後期）基本計画を資料としてお渡しいたしました。その中の48、49ページで協働のまちづくりについての計画が載っております。情報化の関係については、朝日地区では、情報ネットワーク事業により光ファイバーがほぼ全世帯に設置可能になりました。そして、官民協働による地域づくりについてはこれからという時に合併し、合併市町村基本計画の中に引き継がれてきました。第1回目の審議で皆様に話し合っていた中で、交流人口の拡大が一番重要であるということ、また、従来から朝日村が力を入れてきた、みどりの里を中心とした観光、あるいは二子島森林公園、猿田川野営場などの自然を生かした観光を推進していくべきであるというような意見をいただきました。朝日地区が従来から持っている地域資源を生かした地域づくりを進めていかなければならないということですが、今日は、もう少し、具体的に、どういう方向に進んでいったらよいかを話し合っていたきたいということでございます。

会 長；ただいまの、事務局の説明を受けて、委員の皆様の意見をお伺いします。

委 員；今、朝日地区では、農地水環境保全向上対策事業に力を入れて取り組んでいるが、それもひとつの協働のまちづくりと捉えてよいのではないかと。特に新しいものをするのではなく、今まであったものをこれからどのように進めていくか、みんなで考えながら、行政を巻き込みやっつけようというのが協働だと考えたらよいのでは。しかし、活性化というもののどこから活性化していったらよいのか。そこがなかなか難しいところである。そこで、第1回目の会議では、高速道路のインターチェンジがちょうどみどりの里の辺りに来るということで、それを利用した朝日地区の観光の拠点であるみどりの里の観光にまず力を入れながら、交流人口の拡大を図っていかなければならないという話であった。その辺のところを中心に協議していけばよいのではないかと。活性化といっても、教育関係、農林業関係など色々あるが、朝日地区としては、せっかく今まで力を入れてきたみどりの里があるのだから、これからは観光と協働をうまく結びつけていけないか考えたらどうか。高速道路を利用したみどりの里を拠点とした観光による地域の活性化ということで進めていくのもよいのではないかと。こういう方法でこういうことということではな

く、漠然とした言い方になってしまったが、ひとつの意見として述べさせていただきます。

委員；PTAの立場から、子供のいる親からの意見として、短期的に出来ることではないのですが、村上市には若い人が働く場所がないということです。現在、当地区における小中学校教育は、教育委員会、先生方、地域の皆様の協力を得て、落ち着いていてとても良好な状態にある。また、学力についてもかなり伸びてきているし、大学あるいは専門学校などに進学する子供も増えている。しかし、子供たちの中には地元志向が我々のころより強くなったのではと感じる部分もある。ただ、現実を見ると、働く場所がないということがある。今、世の中は大変厳しい時代を迎えているので、企業誘致も簡単には出来ないだろうが、若い人がいなければ、活性化も出来ないと思う。長い目でみた活性化として、若い人の働く場所の確保を考えたほうがよい。

委員；これから、まだまだ若い人がいなくなる時代がやってくる。まさに少子高齢化で、朝日の場合は65歳以上人口が30%を超えている。そんな中で朝日の活性化を考えることはとても難しい。これだけ経済が収縮している中で、国も補助金を減らして、今度は地方が補助金を減らす。行革で何でもかんでも削減するのではなく、こんな時だからこそ、村上市には補助金をせめて現状維持で支出してほしいし、また、地域の活性化には十分お金を出してほしい。

会長；確かにそうである。ある程度減額するのは仕方ないにしても、これだけは減額しないでお金をかけていくということがあってもいい。例えば、地域づくりあるいは協働のまちづくりの人材育成に十分お金をかけるとか。物事をするには、人がいなければ出来ない。

委員；協働のまちづくりをしようと呼びかけても、中心となるような人がいなければ出来ない。魅力ある人には自然と人が集まるが、今はなかなかそういう人がいない。

委員；協働のまちづくりというのは、例えば集落とか、仲間とかそういう小さな単位から始めていくということなのだろうと思う。最初から、大きいものを目掛けていくとなかなか大変だ。

委員；最初に事務局から話があった、みどりの里を拠点とした観光の推進と

ということだが、高速道路が開通した時にみどりの里で何が出来るか。市の財政も非常に厳しい状況にあるため、今、みどりの里にある施設を利用した政策を考えなければならないと思う。また、協働のまちづくりについて言えば、集落単位でどのような活動ができるか、やはり職員が集落に出向いて行ってひっぱって行ってくれないと出来ないことだと思う。例えば、先ほど勉強会で説明を聞いた臭気規制や公害防止条例についても、今日聞いて初めて知ったことであり、こういうことを情報としてどんどん我々に教えてほしい。そして、交流人口の拡大もさることながら今の人口を減少させないような地域づくりをしていくことも大切だ。それから、農林業の振興、朝日地区においてはこれが一番大切なことであり、農林業の所得が上がることによってこの地域が活性化していくのは当然のことである。農林業の就業人口を増やすような政策を打ち出すことが、必然的に活性化に繋がっていくと思われる。

事務局；今ほどの委員の意見を受けましてこちらから少しお話をいたします。第1回の審議会で政策推進課から説明があり、市長とのふれあいトークでも会長が市長に質問されていましたが、平成23年4月から本庁に自治振興課、支所には自治振興室を設置し、その自治振興室に地域課題に対応することが出来る一定の権限・予算を持たせ、支所を活動の拠点として地域活動の活性化や市民活動団体の育成、その他様々な地域課題に対して地域住民と行政が共に支え合いながら取り組んでいけるような体制を整えるということです。つまり、委員がおっしゃったように自治振興室の職員はどんどん外に出て、どんどん地域に行かなければならないということになります。そこでは、全ての地域が同じことをしなさいということではなく、その地域にあった特色や資源を生かしながら協働のまちづくりを進めていくということで、そこに配置する職員の数もお金の金額も今のところ提示されておりましたが、職員を数人はりつけ、お金も自由に使えるようにするということです。また、その使い道についても、道路整備や側溝整備といったハード面だけでなく、ソフト面にも使えるようにしていくというのが現在進められている政策であります。ということも踏まえて、委員の皆様にご意見をいただけたらありがたいと思います。

委員；朝日の場合は高速道路開通によりメリットもあるが、デメリットもあるように思われる。今のところ高速道路の最終インターであるというメリットを生かして最大限にお金をかけたり、政策を打ち出したりす

る必要がある。逆に高速道路が開通すると、新潟市などの都市部が近くなるため休日などはそちらの方に人口が流れるようになるというデメリットが考えられる。まあ、開通してみなければわからないが、開通してみたら、逆に高速道路はいらなかったなどと言わないように今から政策を考えたり、かけるところには十分お金をかけていくことが必要である。いずれにしろ今言えることは、高速道路を最大限に利用する、それと地域の活性化も大切だが、女性が子供を生みやすい、育てやすい環境を整備していく子育て支援も緊急課題である。政府の政策とタイアップして市としても何か打ち出してもらいたい。子供人口の増加が地域を活性化させると思う。

委員；あまりデメリットだけを考えないで、都市部へ出て行く人、都市部から来る人どちらが余計になるかわからないが、朝日に魅力があれば来てくれると思う。来てくれるという政策を打ち出してやるしかない。プラス思考で物事を考えれば、必ず物事はよい方向に進むと思う。みどりの里で行っている色々なイベントなどとタイアップさせながら、そこに足りないものをプラスさせながら取り組んでいけばよい。みどりの里の現在の状況をみると客数は増えているが、逆に年々来場者一人当たりの消費金額が減っているようだ。

事務局；そうすると、訪れてみたくなるような魅力づくりということでしょうか。前回は、人材育成、地域を活性化させるには人が大事だという話がありました。本日は遠山委員が欠席されておりますが、前回の会議では高根フロンティアクラブの話などもしていただき、その中でもやはり事業を推し進めいく人、リーダー的な人間が必要だと言われていましたが、その辺をどのように育成していくかというようなお話もしていただければありがたいと思います。

会長；高根のフロンティアクラブはもう14年も活動を続けていますが、やはり高根の当時の青年層は少子高齢化、人口流出、過疎化に対して強い危機感を持っていたのだらうと思います。だからこそ、まあ、これは想像ですが、高根にある自然を利用し、それらに付加価値を付けて地域資源として売り出そうと、関係者が集まって地域を活性化するにはどうしたらよいか話し合いを積み重ねて今日に至っているのだらうと。皆様の集落あるいは周りでそういうような小さな取り組みでもよいのでしているというものがあつたら聞かせていただきたい。

委員；雇用の場がないというのが非常に困りもので、どうやって確保していくか。職場がなければ嫁も貰えない、十分な子育ても出来ないということに繋がっていく。先ほど、現在、子育てをしておられて、PTA活動など子供を取り巻く現場にいる委員の方から若者の就職先がないという切実な意見がありましたが、それはもっともなことで生活基盤をしっかりとしていかなければ、活性化などと言うことはその次にくるものであり、生活も出来ないのに活性化もしていかないと。その辺、行政と市民が一体となって協力していかなければならない。

事務局；雇用の場については、先ほどから言われておりますように高速道路が出来れば新発田市や新潟市あたりまで通勤出来るようになるかもしれませんが、また、先ほど農林業の話もありましたが、農林業が活性化すれば、そちらのほうの就業人口も若干増えるかもしれないし、あるいは、横井委員のように起業して長い時間をかけて仲間と共に自ら雇用の場を創造した方もいます。ということで、雇用の場の確保の仕方でも色々な方法が考えられると思います。いま、神林の工業団地も村上の工業団地も団地を準備して待っているのだけれども、こういう景気ですからなかなか来て貰えないという状況であります。ですから、雇用の場確保ということも色々な面から考えていかなければならないと思うのですけれども。

委員；観光で人がいっぱい来ると地元の人がすごく元気になるというのは、村上地区の町屋の人形様巡りとか屏風祭りを見ればよくわかります。だから、どうやったら人が呼べるんだろうということをもとに考えないといけななと思います。そういうことから考えると、今年、虚空蔵様が12年ぶりにご開帳されましたが、どのような感触でしたでしょうか。今後、そこをもう少し整備される予定はあるのでしょうか。上まで登りたいという方が何人かいらしたようですが、登れなかったというようなこともあったとか…。みどりの里周辺ということも考えると虚空蔵様が人を呼べるのではないかなと考えています。それともうひとつ、大須戸能ですが、旧朝日村時代に力を入れてきて、集落の子供たちも後継者として能舞台に立ち始めていますよね。若い方もかなり頑張っているようなので、朝日地区が今まで絶やさないように、力を入れてきたものを観光に結び付けられないかなと思います。

委員；私、猿沢集落なので、虚空蔵様について少し話をします。今年は丑年ということで8月15日に12年に一度のご開帳を行いました。当日

は3500人くらいの参拝者がありました。前回に比べると人数的には多かったです。金額の面では少なかった。虚空蔵尊のところにはニレ沢林道があります。これが柏尾林道のように道幅が広ければよいのですが、狭いんですよ。今年から役員4人で管理しています。毎月13日が縁日なのですが、今年から役員1人が案内などを行っています。特に土日などはお客様が多いので頑張ってお応じています。集落の区長が代表になっていますので、そこら辺は集落をあげて取り組んでいます。トイレにつきましてもおかげさまで今年完成すると聞いております。

委員；前に猿沢集落で「前の川」を整備して、例えば、鯉や鮒を放しながら、虚空蔵尊やグリーンパークの登り口の集落として町並みを整備しているという計画があったような気がするが。

委員；だいぶ前ですね。「前の川」の改修ですね。当時県とも色々協議したようですが、結局は頓挫したと聞いています。

委員；会津に大内宿という宿場町がありますが、昔の町並みを保存し観光に生かしています。猿沢集落も昔は宿場町だったと聞いています。町並みの作りも非常に似ています。猿沢集落はみどりの里もある、虚空蔵様もある、非常に立地条件がよいので、その上、町並みが整備されれば地域の活性化と皆さん先ほどから言われているみどりの里の観光をうまく結び付けられないかと考えたものですから。

事務局；今年の9月に国際景観会議2009が村上で行われました。そのときに旧朝日村から猿沢宿が紹介され、猿沢集落から代表の方が出席し発言されていたようです。

委員；先日、塩谷の町屋散策に行ってきました。その日は8軒の自宅が開放されていました。県外ナンバーが多かった。それはなぜかといいますと、長岡造形大学の学生さん方が関わっていて、ホームページで積極的に北前船と港町商人で栄えた町というのを紹介しているということで、山形、秋田からもいらっしやっていました。集落の方が塩谷活性化推進協議会というのを作ってやっています。すごいなあと感心しながら、見たり話を聞いてきました。自分たちが何だこんなものと思っていることが、他所の人がすごくよいと言ってくれる、こんなよい所があるんだなあと言ってくれる。地元の人が気づかないことがいっぱい

いあるのかなと。学生さんとか他所の人を巻き込んでやるのも面白いかなと思います。確か、高根にも東京から学生さんが来るとか聞いています。よく、みどりの里の温泉に来るので。車で来るんですね。皆さん若いからエネルギーあるんでしょうけど…。高根にはフロンティアクラブがあるから来るんでしょうけど。そういうものがみどりの里周辺の集落にも出来ればいいのかなと思います。

会 長；それぞれの集落から話が持ち上がって、それに協力するような人たちが自然に集まるような形になればいいなと思います。そして、朝日地区全体としてみた場合には、特に高速道路も来るし、みどりの里もあるしで、今もお話にあったように頑張っって地域づくりをしておられるようですが、特に周辺の集落には観光と結びつけられるような地域づくりに力を入れていただきたい。そこに行政がうまく協力していったらなと思います。これは、私の個人的な考え方ですが。

委 員；みどりの里周辺の畑を生かした政策があると聞いたが。

事務局；現在、本庁の政策推進課が担当でしていますが、クラインガルテンといいまして、関東方面や新潟市方面から誘客して畑仕事をしていただくということで計画しています。担当課のほうで集落にも説明会をしているとは思いますが、畑としての土壌づくりや集落とどのようにかかわっていくのかその辺を検討しています。先ほどから皆様のお話を伺っておりますと、まずは魅力づくりということになりましようか。みどりの里では、商工まつりやさんさん祭りなど色々なイベントが年間を通して行われていたり、シルクフラワーもある、虚空蔵様もある、色々と資源はありますので、その辺をどのように取り入れてこれから結びつけていくかだと思います。

会 長；私としては、人材育成が非常に重要だと考えています。観光と結びつけた地域づくりとなると中心は猿沢地区になっていくのかもしれませんが、その集落だけではなく、他の集落からも手を挙げる方がいたら是非グループに入れていくようにしていかなければならないと思います。これからは、広がりを持たせた地域づくりも必要になってくるのではないのでしょうか。

委 員；朝日地区の全地域が均衡あるように活性化していかなければ、頑張っているところはいいけれども。みんなに日が当たるようにしなければ

ならないでしょうね。

会 長；それでは、事務局には、本日の委員の皆様の意見を集約していただくようお願いします。委員の皆様から特になければ、本日の議事については終了します。ありがとうございました。

4. その他

事務局；4のその他に移ります。次回の地域審議会の日程について、今、ここで決定させていただいてよろしいでしょうか。11月17日金曜日とさせていただきたいと思いますが。資料と通知文については、会議の1週間前には皆様のお手元に送付いたします。

5. 閉会

事務局；最後に横井副会長から閉会のあいさつをお願いします。

副会長；委員の皆様には色々ご意見をいただきましてありがとうございました。次回は資料を基に意見書としてまとめていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

(午後3時 閉会)